


- 
- おくじ
- 2 3月定例会概要・議案審議質疑
 - 4 一般質問
 - 10 予算特別委員会
 - 13 花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会検討状況等
 - 14 常任委員会等の活動報告
 - 15 請願・陳情審査
 - 16 ちよつと一言、議会の動きほか

はなまさ市議会だより

花の風

第79号

令和6年5月1日

議案審議

可決 花巻市職員定数条例の一部を改正する条例

定年引き上げに伴う消防職員の高齢化による消防力の低下を防ぐため、消防本部および消防署の職員定数を改めようとするもの。

質 疑

●質問…定数を151人から161人に改めるものであるが、いつまでに達成できるのか。

答弁…令和14年度を見込んでいる。



可決 イーハートーブ花巻応援基金条例

イーハートーブ花巻応援寄附金を管理し、市の事業の実施に充てるため、基金を設置するもの。

質 疑

●質問…新たに基金を設置する理由は。

答弁…現在はふるさと納税でいただいた寄附金の一定額を、花巻市まちづくり基金に積み立てて事業に充当しているが、ふるさと納税の額が増加していることから、基金を独立させることで寄附金の使途が明確になることを目的として、新たに基金を設置しようとするものである。

賛否が分かれた議案の審議結果

請願2	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求めることについて
請願3	精神保健医療福祉の改善を求めることについて
意見書案1	安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書
意見書案2	精神保健医療福祉の改善を求める意見書

会派名	明和会					はなまき市民クラブ			緑の風			社民クラブ			日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果								
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山るみ子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸	照井省三	若柳良明		阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	大原健	菅原ゆかり	
請願2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	採択	
請願3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	採択
意見書案1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	可決
意見書案2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	欠	●	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

3月定例会 提出された36議案を可決

令和6年第1回花巻市議会定例会は2月27日開会、3月19日までの22日間の日程で開かれました。初日の本会議では、市長施政方針および教育長演説が行われ、提出議案の説明がなされたほか、令和6年度花巻市予算は、議長を除く全議員で特別委員会を設置し、審査することとしました。3月4日から3月6日までは一般質問に14人が登壇し、市政課題について質問しました。3月7日には議案審議を行い、全議案を原案のとおり可決したほか、花巻市教育委員会教育長の任命については、佐藤勝氏(再任)を全会一致で同意しました。3月12日から14日までは予算特別委員会が開かれ、令和6年度花巻市一般会計予算および各特別会計予算等について原案のとおり可決しました。また、最終日には、財産(土地)の取得に関し議決を求めることについての1議案が追加提案され、原案のとおり可決しました。

主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

可決 第3次花巻市環境基本計画の策定



審議の様子はこちら

本市における環境の保全および創造に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため策定するもの。

質 疑

●質問…基本計画案に、長年にわたり矢沢地区の悪臭が問題となっているとあるが、いつからなのか。また、改善勧告はいつ行ったのか。

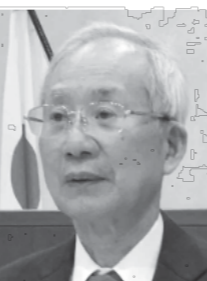
答弁…平成14年に悪臭検知件数および苦情があったことで初めて勧告を行っている。以降これまでに9回の改善勧告を行っており、直近では平成28年8月に行っている。

【表紙写真について】

撮影者 早池峰カメラクラブ 佐々木保さん
 内容 昨年5月の開牧間もない頃の市営大迫宇瀬水牧野を撮影した風景です。市内には市営大迫宇瀬水牧野と市営東和五輪牧野があり、牛たちは広大な牧野を元気に駆け回り、青々と茂った牧草を食べています。

一般質問

Q 国の食料自給率は現在38%である。農政の憲法と評され、改正される食料・農業・農村基本法において中心課題とされている食料自給率について市の考えを伺う。



あべ かずお
阿部 一男 議員

A 食料生産基盤としての農地を維持するためには、農業者が農業により十分な収益を得られることが重要であると考え。今後、有機農業に対する取り組みやスマート農業の推進、中山間地域等直接支払交付金などの制度の維持を国に要望しながら取り組みを継続し、農業振興に努めていく。

Q 市の有機農業の現状と、今後予定しているオーガニックビレッジ宣言の状況と内容について伺う。



A 市内の無農薬栽培や有機栽培に取り組んでいる農業者は12経営体で、米、大根、コマツ菜、カブ、ネギ、ニンジンなどを作付けしており、面積は約20ヘクタールとなっている。オーガニックビレッジ宣言は、市の方向性や取り組みを示す実施計画の策定が必要となることから、現在作業を進めているところであり、令和6年度において計画策定し、宣言を行う予定としている。



くぼた しょうこう
久保田彰孝 議員

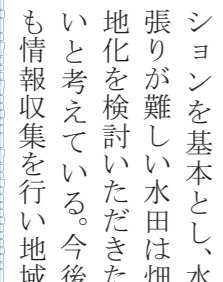
Q 大量の化石燃料を消費する家庭ごみを減量化する上で大事なことは適正な分別、再利用と生ごみの減量化である。市民への啓発の取り組みについて伺う。

A 市の家庭ごみ排出量は令和3年度、1日当たり467グラムで北上市に続き、県内14市中2番目に排出量が少ない。広報媒体等やごみ減量アドバイザーによる出前講座でごみ減量を呼びかけている。また、小学4年生を対象に12校で出前授業を行い、ごみへの意識が高まった等の感想が寄せられている。



Q 自衛隊員募集業務について

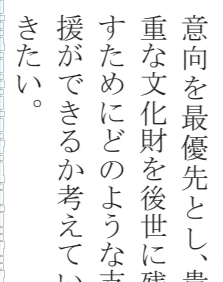
A 令和2年度の閣議決定に基づいた通知で、住民基本台帳上、特段の問題を生じるものではないと明示された。その後、自衛隊より紙媒体での提出を求める依頼があったことから提供している。提供は法定受託事務である一方で、除外申請制度を設ける明確な法的根拠の確認ができないことから、引き続き情報収集する。



さとう みねき
佐藤 峰樹 議員

Q 農業振興について

A 指摘の課題については、地域の実情に合わせた制度設計を行うように国等に対し要望してきた。しかし、現状では国の定めに応じた営農が必要な状況であり、本市としては水田として認められる農地はブロックローテーションを基本とし、水張りや難しい水田は畑地化を検討いただきたいと考えている。今後情報収集を行い地域



Q 蘇民祭について

A 市内いずれの蘇民祭についても、古くから地域に伝わる伝統行事であり、大切に継承されてこられた貴重な行事で、観光資源としても大変魅力があり高く評価している。今後については、懇談等で個別にお話を伺いながら、保存団体の皆様の意向を最優先とし、貴重な文化財を後世に残すためにどのような支援ができるか考えていきたい。

一般質問

3月定例会では、14人の議員が登壇し、市政全般について質問を行いました。

令和6年第1回花巻市議会定例会 一般質問一覧 (登壇順)	
伊藤 盛幸 議員 (緑の風)	①災害対応について ②花巻市附属機関について
阿部 一男 議員 (社民クラブ)	①第2次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンについて ②農業問題について
久保田彰孝 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①家庭系ごみについて ②申告会場について ③自衛隊への個人情報提供について
佐藤 峰樹 議員 (明和会)	①農業振興について ②花巻市指定無形民俗文化財について
佐藤 現 議員 (はなまき市民クラブ)	①保育環境整備について ②小中一貫校について ③保育施設及び小中学校における安全衛生について
鹿討 康弘 議員 (緑の風)	①公共施設について ②成年後見制度について ③幼児期の発達障がい支援及び早期療育について
照井 明子 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①会計年度任用職員について ②空き家等対策について
藤根 清 議員 (明和会)	①農業振興について ②スポーツ振興について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	①市長市政方針について ②子ども・子育て応援プロジェクトについて
似内 一弘 議員 (緑の風)	①デジタル田園都市国家構想総合戦略に基づく市の対応について ②大学との連携について
櫻井 肇 議員 (日本共産党花巻市議会議員団)	①災害対策について ②消防団の組織再編について ③リンゴ生産における凍霜害対策について
及川 恒雄 議員 (明和会)	①農業政策について ②消防団について ③改正食品衛生法の完全施行について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	①性的少数者 (LGBT) について ②聴覚障がい者支援について ③精神障がい者支援について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	①不妊治療について ②こども誰でも通園制度 (仮称) について

Q 被災地への支援物資の輸送について

A 本市は、県内唯一の空港所在都市である。県と協力し、県の防災ヘリを活用し花巻空港から支援物資をいち早く現地に届けることはできないか伺う。

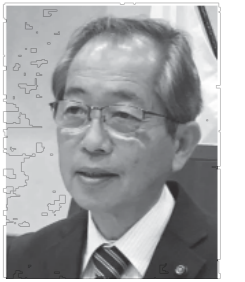


いとう せいこう
伊藤 盛幸 議員

Q 花巻市附属機関の設置及び運営に関する要綱の設置について

A 本市は、令和5年3月、花巻市附属機関に関する条例を制定した。一年が経過するが、委員の選任や就任期間、男女の割合などを定める要綱を設置する考えはないか伺う。





佐藤 現 議員

待機児童について

市内保育施設等の待機児童の現状について伺う。

A

令和6年2月1日現在の待機児童数は52人で、0歳児51人、2歳児1人となっている。地域別には、花巻地域31人、大迫地域1人、石鳥谷地域19人、東和地域1人である。要因は、育児休業からの復帰に伴う入所希望が多く、年度途中から低年齢児を受け入れなければならぬ状況に加え、保育士不足によるものが原因と捉えており、今後もこの状況は続くと思われる。

保育士確保について

市独自に保育士または保育施設等に賃金支援等を行う考えはないか伺う。

A

市独自の処遇改善は、仮に保育士に月額1万円支給した場合、年間約5千万円、月額2万円支給した場合、年間約1億円が見込まれるが、全額市の負担となることから財政負担が大きく、実施が難しいと考える。しかし、地方の保育士の給与水準は依然として低いことから、地方の公定価格の引き上げなど、保育士の処遇改善を今後も県を通じて国に要望していく。

ネーミングライツ(※)について

文化会館や総合体育館などの公共施設にネーミングライツを導入する考えはないか伺う。

A

多額の対価が得られるのであれば市の収益となり望ましいと考えるが、総合体育館を例にとると、年間維持費に約9180万円を要しており、年間100万円から200万円のネーミングライツ料を得た場合でもはるかに少ない。市民が多額の維持管理費および使用料を負担して運営している施設に、一企業の名称を冠することはバランズが取れないのではないかと考える。



鹿討 康弘 議員

幼児期の発達障がい支援および早期療育について

早期療育と途切れぬ支援が重要と考えるが、新年度からの支援体制について伺う。

A

これまでの取組に加え、こども家庭センターの新設などの組織改編、関係機関で情報共有するため幼児の行動傾向などを可視化する統一のアセスメントシートの導入検討、市の関係課と、幼児教育保育施設などの関係機関から構成する連絡会議やケース会議の開催などにより、積極的に情報の共有と連携を図りながら個々の状況に応じた切れ目のない支援の体制づくりに努める。



照井 明子 議員

会計年度任用職員について

会計年度任用職員の給与改定について、令和5年度は4月に遡って支給されないが、令和6年度以降の給与改定に伴う遡及適用について伺う。

A

人事院勧告により給与改定があった場合には、給与に反映させたいと考えている。引き上げの手法は、本市の会計年度任用職員は現時点で近隣市と比較して月例給の支給額が高く、期末手当の支給月数が低いことから、年収を近隣市と同程度とすることを原則とする考え方にに基づき、期末手当の増額で対応することも考えられる。

空き家利活用に対する助成について

全国では、空き家を地域資源として生かす取り組みが展開されている。空き家の利活用に対する助成について伺う。

A

以前から実施し、好評を得ている空き家バンク制度や、解体後の利用を目的とした解体費用の一部補助を行う空家等解体活用補助金、空き家等を活用して新たに障がい者施設や介護施設などを整備する場合の施設整備費の一部補助等がある。空き家を利活用する政策は、地域コミュニティの発展などに有効であり、今後も情報発信に努める必要があると考える。



藤根 清 議員

農業振興について

銀河のしずくの販売促進に向けた取り組みについて伺う。

A

銀河のしずくは、特A評価を獲得するなど最高評価を得ているが、県外ではいまだに品種自体を知らない方が多いものと認識している。このことから、これまでの販売促進でPRしてきた岩手や花巻につながる銀河のしずくのイメージを大切にしながら、関係機関等と連携を図り、より一層の認知度向上と販売促進に取り組んでいく。

スポーツ振興について

県外の高校との練習試合の際におけるスポーツ施設使用料の減免および練習試合の開催情報の公開について伺う。

A

県外の高校との練習試合の際におけるスポーツ施設使用料の減免を行うことについて、市内の高校の意向をお聞きして可能かどうか検討していく。練習試合の公開についても、市民の方々の観戦が可能かどうかについてお聞きしながら、可能である場合には、市のホームページなどでお知らせをしていきたいと考えている。

国の農用地面積目標達成措置の強化について

このことに対し、全国市長会で行った市長の発言に同感する。この発言に至った背景と本意は何か伺う。

A

今回の改正法案による新たな規制が加わった場合、農用地区域内を、農用地区域から除外することが一層困難となり、企業側からの用地の需要に応えることができなくなる恐れがある。市としては、主体的なまちづくりを行うおうとする地域の自主性を脅かし、地方分権や地方創生の取り組みにも反するものであるとの意見を提出したところである。

給食費の無料化について

国が着手するのを待つのではなく、思い切って展開してみてもどうか。子どもの五つの無料化を行った明石市長は、市長が決断し、予算の配分を変えるだけと主張している。市長の所見を伺う。

A

市税が110億円しかない中で、簡単に年3億5千万円かかる給食費無料化の経費を出せることにはならない。明石市でも財源があつて取り組んだとのことから、どこでも財政運営を考えながら、何をすれば良いのかを真剣に考えている。

デジタル田園都市国家構想について

デジタル田園都市国家構想交付金に対する令和6年度の市の対応を伺う。

A

令和6年度当初予算において、交付金のデジタル実装タイプ1と言われる、他の地域等ですでに確立されている優良なモデル・サービスを活用して迅速に横展開する取り組みとして、市の公式LINEやチャットボットなどのデジタルツールを活用した情報発信の強化等、合計6件の事業を予定している。

大学との連携について

大学のサテライトキャンパスの整備、フィールドワークの誘致について伺う。

A

市外の大学のサテライトキャンパスを誘致することは現実的ではないと考えているが、例えば富士大学が花巻駅周辺にサテライトキャンパスを整備することで学生が通学しやすくなるのであれば、支援を検討する余地はある。フィールドワークについては、花巻市を研究したいという希望がある場合には、必要な支援を行っていきたいと考えている。



本館 憲一 議員





さくらい はじめ 櫻井 肇 議員

■災害対策について

Q 第二次花巻市まちづくり総合計画長期ビジョンの施策展開における災害対策について伺う。

A 長期ビジョンでは、次に挙げる四つの施策を展開していくこととしている。一つ目の「危機管理体制の強化」では、指定緊急避難場所の充実、災害用物資の計画的な備蓄、地域コミュニティや自主防災組織との連携による安定的な避難所運営体制の構築、市民の防災意識と知識の啓発に努めるものである。二つ目の「自然災害



の強化」では、北上川、猿ヶ石川の堤防整備について国への要望を継続する他、土砂災害防止対策、住宅の耐震化やブロック塀除去等への支援を行い、災害に強いまちづくりを目指すものである。

三つ目の「消防力の強化」では、迅速かつ的確に消防活動を行うため、消防施設の充実や、消防力の強化、消防団組織活動の活性化を推進する他、市民や民間事業者等への防災意識の高揚と予防消防の強化に取り組みものである。四つ目の「救急救助体制の強化」では、救急設備の充実や、救急講習会の実施などに取り

■農業政策について

Q 地域計画の具現化に向けた支援体制および担い手確保対策について伺う。

A 農家組合ごとの話し合いの場に、市や農業委員会などの関係機関が参画し、地域課題の整理や解決に向け、継続して支援していく。担い手確保については、市単独事業による様々な支援を行っており、今後も継続支援を考えている。国では、他産地・他産業との連携による労働力確保や、外国人材の受け入れ支援など多様な取り組みを実施していくと伺っている。外国人労働者の受け入れについて



おいかわ つとむ お及川 恒雄 議員



は、農業関係者と協議しながら慎重な検討を行い、国へ労働力確保の施策についての働きかけを行うなど、取り組みを進めていく。

■聴覚障がい者支援について

Q 聴覚障がい者への支援および手話通訳者の育成支援について伺う。

A 手話通訳者の資格を有している、ろうあ者等相談員を障がい福祉課に1人配置しており、ろうあ者の方々の相談に応じる他、現地に出向いて手話通訳を行っている。また、意思疎通支援事業により3人の手話通訳者の派遣も行っている。市内の手話通訳者の派遣が困難な場合は、岩手県立視聴覚障がい者情報センターに手話通訳者の派遣を依頼し、ろうあ者の方々のニーズにお



ささき せいいち 佐々木精市 議員



■精神障がい者支援について

Q 精神障がい者に対する医療費助成制度の対象者拡充について伺う。

A 精神通院医療費を支給する制度として、県の自立支援医療制度がすでに設けられていることから、市としては、重度心身障がい者医療費助成事業について、現時点では市独自に対象者の拡充を図る考えはない。



すがわら ゆかり 議員

■不妊治療について

Q 助成する考えはないか伺う。

A 不妊治療を受けられる方々の経済的負担を軽減するため、令和6年4月から不妊治療に対する支援の実施に向け、令和6年度当初予算に事業費を計上した。支援の対象治療は、男性不妊治療を含む生殖補助医療および一般不妊治療であり、保険適用の対象を問わず、医師が必要と判断したすべての不妊治療および検査を対象としている。

■プレコンセプションケア(※)について

Q 普及啓発について伺う。

A 国立研究開発法人国立成育医療研究センターが、プレコンセプションケア・チェックシートを作成しており、若い世代が早い段階から正しい知識を得て健康的な生活を送ることで将来の妊娠や出産につながり、子どもの健康の可能性を広げる取り組みとして活用を促している。市としても、チェックシートの活用とともに、市ホームページへの掲載を通じて普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。



令和6年第1回臨時会

令和6年第1回臨時会は2月8日に開かれ、議案はすべて原案のとおり可決、承認しました。

Table with 3 columns: 審議した議案, 内容, 審議結果. Contains 5 items regarding budget adjustments and policy decisions.

令和6年第2回臨時会

令和6年第2回臨時会は3月22日に開かれ、議案はすべて原案のとおり可決しました。

Table with 3 columns: 審議した議案, 内容, 審議結果. Contains 1 item regarding budget adjustments for hospital financial support.

※プレコンセプションケア: 将来の妊娠を考えながら、女性やカップルが自分たちの生活や健康に向き合うこと

小原保信
委員

8118万2千円

森林経営支援事業

- Q 森林保全について内容を問う。
- A 豪雨、地震等により被災した治山林道施設等や、荒廃した山地等を早期に復旧し、国土の保全や生産活動の維持、地域の安心安全を確保するための事業内容である。

菅原ゆかり
委員

621万6千円

防災費災害用物資備蓄事業

- Q 事業方針5点の更新にあたり、ローリングストックの流れを伺う。
- A ローリングストックしているのは粉ミルクだけで市内の保育所、支所に置いている。その他備蓄品も無駄のないような使い方を図っている。

本館憲一
委員

231万5千円

化製場悪臭防止対策

- Q この費用の内訳は。
- A 臭気測定 105万6千円
悪臭公害技術参与報酬(2人) 60万円
悪臭公害技術参与旅費 36万7千円
悪臭モニターの委嘱(28人) 20万円
切手代等 4万2千円
矢沢地域環境対策協議会事業費補助金 5万円

伊藤忠宏
委員

6024万円

带状疱疹予防接種費用の補助

- Q この新規事業の内容は。
- A 50歳以上の方が対象で、生ワクチンは回数が1回4千円、不活性化ワクチンであれば1回1万円で回数が2回。どちらも接種費用の半額を補助する。

内館桂
委員

121万2千円

生活バス路線利用促進事業補助金

- Q 現在、大迫石鳥谷線を利用している高校生に行っている通学支援を市内全域に拡大する考えはないか。
- A 市内全域に通学支援を行うことでバスの利用者が上がるのであれば検討の余地はあるが、費用対効果を考えながら判断していきたい。

佐々木精市
委員

131万5千円

遠隔健康管理事業

- Q 今回新規であるが、事業予算化に至る経緯を伺う。
- A 大迫地域において医療資源が乏しい状況のもと、疾病の予防、早期発見、重症化予防、また安否確認等を行ううえで必要と判断して予算計上となった。

及川恒雄
委員

60万2千円

市内企業検索サイト運営

- Q 企業検索サイト「お仕事ナビ」について、働き手と企業を結ぶサポートの成果は。
- A 現在130社が登録している検索サイトのアクセス数は昨年9月から半年間で倍の9万件となっている。令和6年1月末時点で、就職希望高校生の花巻管内および県内への就職内定率は県内で1番である。

◎内定者 139人
(令和5年度卒業予定の就職希望高校生 141人中)
うち 花巻管内 65人
市外(県内) 60人
県外 14人



3月12日



3月13日



3月14日

審議の様子は
こちら

令和6年度
予算審査

令和6年度当初予算審査を3日間にわたり行いました。担当課より説明を受け、質疑を行い、最終日の本会議にて予算を可決しました。市議会が注目した予算は次のとおりです。

鹿討康弘
委員

163万1千円

予防接種健康被害調査

- Q 予防接種健康被害調査は新型コロナワクチン接種に関連したものか。事業の内訳は。
- A 新型コロナワクチン接種に関連する健康被害救済制度である。

健康被害調査有識者報奨金 16万6千円
費用弁償 千円
申請中の健康被害救済給付金(2件) 146万4千円

佐藤峰樹
委員

4900万円

子育て世帯住宅取得奨励金

- Q この拡充内容と令和5年度の実績は。
- A この拡充内容と令和5年度の実績は。大迫・東和地域に対しての支援策の考えは。
A 子育て世帯で2人目の子どもから10万円を加算するもの。令和5年度の実績は2月末で花巻地域81件、大迫地域1件、石鳥谷地域11件、東和地域3件。大迫・東和は市独自の施策として制度化して取り組んでいる。親御さんの近くに住むことをコンパクトネットワークとは別に必要な観点から支援する可能性を考えていきたい。

照井省三
委員

500万円

商店街活性化イベント補助金

- Q イベントを主催する団体に対しての補助金だが、対象地域外の商店街は閑散としている。この状況をどう認識しているか。
- A 商店街の方々と密に連携を取りながら将来の姿を模索したい。また、駅前や中央広場などが賑わうことによる相乗効果を期待したい。

小森田都也
委員

1億358万3千円

消防団員の報酬

- Q 消防団員報酬が個人支給になったが部の運営に支障はないか。運営費への支援の考えは。
- A 運営に苦勞する声も届いてはいるが、各分団で運営方法が異なるためお任せしている。当市は屯所の運営費全てを公費で賄っており、これ以上の公費の負担は検討していない。

～花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会での 検討状況をお知らせします～

花巻市議会議員の活動の検証と報酬の適正な在り方について調査検討を行うため、12月1日に特別委員会を設置し、12月12日には小委員会を設置。現在、小委員会が中心となり議員の報酬等に関する調査検討を進めています。

議員活動実態調査を実施しています

これまでに特別委員会は3回、小委員会は6回開催（3月31日時点）しているところですが、これまでの議論を踏まえ、まずは議員個々の活動について実態を把握することとしました。4月から9月までの6カ月間、議員活動を毎日記録し、その結果をもとに今後の検証につなげることであります。

また、議員報酬の改定実績のある一関市へ小委員会で視察に伺いました。本市議会の報酬等に関する調査検討を進める上でとても参考となるものでした。

花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会では、これからも活発な議論を進めていきます。

花巻市議会公式 YouTube チャンネルを開設します！！



広報特別委員会

花巻市議会では、より多くの方々に市議会への興味・関心を持っていただくため、令和6年6月定例会より、花巻市議会公式 YouTube チャンネルを開設します。

市議会に係る情報や活動、定例会のお知らせなど、市議会の活動内容を伝える動画を配信していきます。

動画の企画・撮影は広報特別委員会が担当します。

ぜひご視聴ください！！

議会モニターを募集しています

花巻市議会の活動について市民の皆様からご意見を伺い、議会の運営等に反映させることを目的に議会モニターを募集しています。

○募集期限

令和6年5月31日（金）

○申込方法

申込書に記入し、議会事務局へ郵送、FAX、メール、持参のいずれかによりお申込みください。申込書は市議会ホームページからダウンロードできるほか、議会事務局にも備え付けています。

詳細は市議会ホームページをご覧ください。



伊藤盛幸
委員

広域観光推進事業

100万円

Q JR釜石線について、沿線自治体に呼びかけながら利用促進を図る考えは。

A 釜石線沿線広域エリア活性化委員会の中で様々な事業を行っている。市だけではなくJRの協力を得ながら活性化利用の促進を進め、具体的な事業については県、JRとも話し合っ今後決めていく。

照井明子
委員

学童クラブ 性被害防止対策事業

97万円

Q この新規事業の内容を伺う。

A 子どものプライバシー保護を目的としたパーテーション、簡易扉、簡易更衣室等の設置、保育状況の確認・記録用のカメラの設置が補助対象。私立保育施設では35施設中15施設、学童クラブでは19施設中13施設が希望している。

高橋修
委員

教育普及活動事業

250万3千円

Q 新花巻駅がなぜあの場所にできたのかや、イトーヨーカドー誘致の経緯など、先人の努力でできた経緯を学び伝えていく考えはないか。

A 令和3年度のテーマ展で行った新花巻駅設置の経緯を含めた展示が好評であり、それを基にしたプログラムを含む9プログラムを用意し、小中学校に出前講座を行っている。イトーヨーカドー設置の経緯については開催したことがないが、要望があった際には期待に応えられるような講座を開きたいと考えている。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 29	令和6年度花巻市一般会計予算
議案 30	令和6年度花巻市国民健康保険特別会計予算
議案 31	令和6年度花巻市後期高齢者医療特別会計予算

会派名	明和会				はなまき市民クラブ				緑の風		社民クラブ		日本共産党花巻市議会議員団		会派に所属しない		審議結果												
議員名	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	小原保信	横田忍	盛岡耕市	佐藤峰樹	高橋修	羽山み子	佐藤現	内館桂	本館憲一	小森田郁也	鹿討康弘	似内一弘	伊藤盛幸		照井省三	若柳良明	阿部一男	久保田彰孝	照井明子	櫻井肇	佐々木精市	大原健	菅原ゆかり			
議案 29	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	欠	○	可決	
議案 30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案 31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

常任委員会等の活動報告

文教福祉常任委員会

- ◆ 2月20日(火)
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
- ◆ 3月8日(金)
 - * 第1号陳情審査
「福祉(介護)の質の向上と介護職の賃上げを目的とした花巻市独自の福祉事業について」
▷ 審査結果・・・不採択
 - * 第2号請願審査
「安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求めることについて」
▷ 審査結果・・・採択
 - * 第3号請願審査
「精神保健医療福祉の改善を求めることについて」
▷ 審査結果・・・採択

議会改革推進会議

- ◆ 3月15日(金)
 - * 花巻市議会基本条例に基づく活動の検証について
- ◆ 3月28日(木)
 - * 花巻市議会基本条例に基づく活動の検証について

総務常任委員会

- ◆ 2月20日(火)
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - * 所管事務調査「投票率向上に向けた取組について」
- ◆ 3月8日(金)
 - * 所管事務調査「テレビ難視聴対策事業について」
- ◆ 3月19日(火)
 - 政策提言書提出(※下記に記載)

産業建設常任委員会

- ◆ 2月20日(火)
 - * 協議「花巻市議会基本条例第13条及び第14条に基づく説明資料の作成を求める事業の選定について」
 - * 協議「政策提言について」
- ◆ 3月11日(月)
 - * 所管事務調査「花巻市の農作物の状況について」
- ◆ 4月3日(水)
 - * 所管事務調査
「(1) ライドシェアについて
(2) 互助輸送について」

総務常任委員会 政策提言書を提出しました

3月19日、「投票率の向上に関する提言書」を、議長より選挙管理委員会委員長へ提出しました。
総務常任委員会では、令和4年8月の改選以降、各委員が捉えている市政の課題を持ち寄り、その中から委員会として調査すべき事項を「選挙掲示板数と投票率の向上について」とし、調査・研究、行政視察を行ってきました。
その結果を踏まえ、委員会としての考えを取りまとめ、当市の施策に反映してもらうよう提言しました。
※提言書の内容については、市ホームページに掲載しています。



請願・陳情審査

3月定例会では、文教福祉常任委員会が第1号陳情および第2号請願、第3号請願の審査を行いました。審査の結果、第1号陳情は不採択、第2号請願および第3号請願は採択すべきものと決しました。

◆ 第1号陳情(不採択)
福祉(介護)の質の向上と介護職の賃上げを目的とした花巻市独自の福祉事業について

審査において委員からは「介護給付費準備基金を活用した市の独自事業を実施することは、基金の設置目的を考えると無理がある」といった意見があった一方で「介護職のキャリアアップや賃上げをして、基盤を整備する必要がある」という陳情者の思いは理解できるなどの意見が出されました。
採決の結果、全会一致で不採択すべきとなりました。

◆ 第2号請願(採択)
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求めることについて

審査において委員からは「県の医師や看護師等の平均超過勤務時間数を見ても明らかに人員不足である。感染症対策としても公立、公的病院の拡充強化は必要だ」との意見があっ

た一方で「請願内容はどれも大事なことだと思いが、保険料や一部負担金の負担軽減は難しいのではないか」などの意見が出されました。

採決の結果、請願事項1から3については全会一致で採択すべきと決し、請願事項4については賛成多数で採択すべきとなりました。

◆ 第3号請願(採択)
精神保健医療福祉の改善を求めることについて

審査において委員からは「地域包括で精神障がい者と共存していくことはこれから必要なことであり、重要な課題と考える」「身体・知的・精神と三つの障がいがあるが、精神の部分は制度的に遅れているため、医療の充実に取り組んでいくことが必要」「精神障がい者の人権は保障されなければならないと思う。そのために精神科医療の環境を改善したり、地域共生社会の実現を目指していくことが必要であると思う」などの意見が出されました。
採決の結果、請願事項1から5について全会一致で採択すべきとなりました。

定例会最終日の本会議で委員長報告を行い、採決を行った結果、それぞれ委員長報告のとおり決しました。
※請願・陳情全文は市ホームページに掲載しています。

意見書を提出

◆ 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書

国民誰もが安心して医療・介護を利用できるよう、次のとおり要望します。

- 1 医師・看護師・介護職員などの配置基準を見直し、大幅に増員すること。ケア労働者の賃上げを支援すること。
- 2 医療や介護現場における「夜勤交替制労働」に関わる労働環境を抜本的に改善すること。
- 3 公立・公的病院を拡充・強化し、保健所の増設など公衆衛生体制を拡充すること。
- 4 患者・利用者の負担を軽減すること。

◆ 精神保健医療福祉の改善を求める意見書

精神疾患や認知症を持つ人が地域社会の一人として安心して暮らし続けられるよう、次のとおり要望します。

- 1 精神病床の人員配置を一般病床以上にすること。
- 2 合意のない治療等を禁止し、無期限の入院制度廃止を法制化すること。
- 3 精神科病院の入院患者が感染症等の疾病発症時、適切な治療を受けることができている実態を改善すること。
- 4 継続的な地域の支援体制を法制化すること。
- 5 施策を講じる際、当事者団体等の参加を要件とする(1)と、社会全体で支える体制を構築・拡充すること。

※意見書全文は市ホームページに掲載しています



ながはた ひりゅう 永島 緋竜 さん (花巻北高校3年)

花巻市の未来へ ちよっと一言



おかだ ちほみ 岡田 知穂 さん (石鳥谷町新城)

愛と思い出の街づくり

花巻市は、自然の景観に恵まれ、花巻まつりなど伝統的行事が残る魅力的な街です。一方で、友人との会話では、遊ぶところが少ないということが話題になります。私自身も休日遊ぶ際には遠出をするのが多く街中で過ごすことがあまりありません。もともと若者が出かけられる場所が求められてい

ます。そのために、既存の施設を活かした工夫が必要だと考えます。例えば、図書館の整備に関わって新たに情報を扱う空間を設けたり、地元を活かしたバーチャルなレジャー体験を提供するなどです。このような機会が増えれば、若者の地元愛は高まり人の集まる魅力的な街になると思います。

いつまでも続け、緑の街花巻

私の生まれ育った花巻は、どこまでも続く緑の田園地帯が美しい街です。今、農家は後継ぎが居ない、後継者問題に直面しています。このままでは農家が無くなるのでは？と不安になります。

例えば、空いている農地を市民農園として農業に興味のある市民の皆さんに貸していただく。そして農業の先輩の方に

教えていただいで受け継いでいく。会社を退職した方、自分で作った野菜を子どもに食べさせたい方、農業に関わりを持ちたいと思ってる方。そんな皆さんが、身近に農業に携わる環境ができたなら、少しずつでも農業人口が増えて農業の未来に明るい光が差すと思います。

議会の動き 2月～4月

- 2月5日 議会運営委員会
- 8日 令和6年第1回臨時会、議員説明会、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 19日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 20日 議員説明会、花巻市議会議員報酬調査検討特別委員会、総務常任委員会、文教福祉常任委員会、産業建設常任委員会
- 21日 議会運営委員会
- 2月27日～3月19日 令和6年第1回定例会
- 27日 議会運営委員会、広報特別委員会、広聴特別委員会、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 3月7日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 8日 総務常任委員会、文教福祉常任委員会
- 11日 産業建設常任委員会
- 12日～14日 予算特別委員会
- 15日 広報特別委員会、広聴特別委員会、議会改革推進会議、花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 19日 議会運営委員会、議員全員協議会
- 22日 議員説明会、議会運営委員会、令和6年第2回臨時会
- 28日 議会改革推進会議
- 4月2日 広報特別委員会
- 3日 産業建設常任委員会
- 11日、18日 広報特別委員会
- 24日 花巻市議会議員報酬調査検討小委員会
- 26日 産業建設常任委員会

議会傍聴にぜひお越しを！！

【3月定例会】
本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 64人

【6月定例会】
6月7日（金）開会
詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただくか市議会のホームページをご覧ください。
議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・PCで視聴できます！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

委員		副委員長		委員長	
阿部 一男	櫻井 肇	佐々木 精市	伊藤 忠宏	及川 恒雄	鹿討 康弘
小森田 郁也	小原 保信	羽山 るみ子	【広報特別委員会】		